

## 03 巻頭言

### 超高齢社会におけるSDGsの意義

永松 俊哉 (ながまつ・としや)

山野美容芸術短期大学美容総合学科 教授

福岡教育大学大学院修士課程修了。博士[保健学](東京医科歯科大学)。明治安田厚生事業団 体力医学研究所所長を経て2019年より現職。専門は運動生理学、公衆衛生学、健康科学。運動・身体活動が心身の健康に及ぼす効果に関する研究に従事。著書に「運動とメンタルヘルス(杏林書院)」、「ポジティブ脳に切り替えるストレッチ(メディカルトリビューン社)」などがある。ダイヤ財団倫理審査委員。

## 04 Dia Report

### 高齢期に「年賀状」でつながる他者とは？

澤岡 詩野 (さわおか・しの)

— 会うことはないかもしれないが、意味のある他者 —

ダイヤ高齢社会研究財団 研究部 主任研究員

東京工業大学大学院卒。工学博士。東京理科大学助手を経て、2007年より現職。研究テーマは高齢期の社会関係。業績として「都市のひとり暮らし後期高齢者における他者との日常的交流」(共著『老年社会科学』)、「都市部の企業退職者の社会活動と社会関係におけるインターネットの位置づけ」(単著『老年社会科学』)など多数。

## 08 フォーカス高齢社会

### コロナ禍でスマートフォンを使う機会が増えた 今こそ健康のために気をつけたいこと

松田 文子 (まつだ・ふみこ)

— 人間工学に基づく7つのヒントを参考にし —

公益財団法人 大原記念労働科学研究所 特別研究員

博士(工学)。日本人間工学会代議員、認定人間工学専門家。千葉工業大学非常勤講師、ダイヤ高齢社会研究財団客員研究員、中央労働災害防止協会 ISO45001/JISQ45100 審査員、第一カッター興業株式会社社外取締役。主な著作として、「立ち仕事の多い職場での健康づくり」(『POSTURE』46巻、2019年)、「自宅型テレワークの作業環境に関する状況と健康上の課題」(『安全と健康』70巻3号、2019年)など。

## 10 財団研究紹介

### 第15回日本応用老年学会大会を成功裏に開催

石橋 智昭 (いしばし・ともあき)

ダイヤ高齢社会研究財団 研究部長 博士(医学)

千葉大学大学院修了。博士[医学](慶應義塾大学)。亀田総合病院(専任研究員)、慶應義塾大学医学部(助教)を経て2011年から現職。専門は、高齢者のヘルスサービスリサーチ。財団では、「ケアの質のアウトカム評価」「介護予防政策の自治体共同研究」「生きがい就業の介護予防効果」を担当。

## 12 Dia Information

表紙撮影：柳沢 正男氏「御宝田遊水地の白鳥」、秋林 正毅氏「菅生沼の白鳥」「庭のメジロ」、土田 唯雄氏「恵比寿様の熊手」  
※ 448 SCHOOL (千葉県我孫子市で写真愛好家を指導している吉羽健二郎さん夫妻の写真教室) 所属の皆さんの作品です。